

輪島クリエイティブデザイン塾 特別トークイベント

「普段使いの漆器ってどのように販売されていますか？」

本年、輪島漆再生プロジェクト実行委員会では、輪島クリエイティブデザイン塾を開講して、コロナ禍で先行きが不透明な昨今において、デザイン力(生産)やマーケティング力(流通)、コミュニケーション力(販売)など、漆のモノづくりをつづける上で大切な事柄を学んでいます。

この度、特別トークイベントとして、東京茗荷谷にて漆中心の生活道具ギャラリー「スペースたかもり」オーナーでエッセイストの高森寛子さんにご登壇いただきます。

ご両親が輪島出身の高森寛子さん。幼い頃から輪島塗に親しまれてきました。

和菓子屋「一幸庵」さんの三階にある極小スペースで、全国的にも珍しい漆中心のギャラリーを25年運営しながら、多くの漆器を中心に生活道具を販売されています。

平行して精力的に伝統工芸や漆器に関する本、雑誌への執筆活動を続けてこられ、今年の6月、小学館より「85歳現役、暮らしの中心は台所」を出版され、益々暮らしやギャラリー運営を愉しまれています。

全国の多くの創り手との交流、暮らしを愉しむ使い手の方々への熱心なお話しを通し、これからの世の中において、本物の漆器にはどんな可能性はあるのか、、、あるとしたならば、創り手は何を目指すべきなのか？ デザイン塾講師の古庄良匡、塾長の桐本泰一が高森さんのこれまでの活動を紹介しながら、これからのモノ作りのヒントを伺いたいと思います。

デザイン塾メンバー以外でもご参加をお待ちしております。



高森寛子さん



日 時：2022年**11月13日**(日)
13:30～15:00 (受付／13:00～)
会 場：輪島市役所 3階・大会議室
対 象：このトークイベントに興味のある方
申 込： <https://forms.gle/xUUKHAWcP7TUPM7KEA>

参加
無料

※スマホ、タブレット、パソコンからこのアドレスに繋ぐか、QRコードを読み込んでお申し込みください。
問合せ先の電話、FAX、E-mailでもお申し込みできます。



申込締切：11月11日(金) 午後5時まで
主 催：輪島漆再生プロジェクト実行委員会
問合せ先：輪島市産業部漆器商工課 漆器振興戦略室(細川、外)
電話：0768-23-1144 FAX：0768-23-1856
E-mail shoukou@city.wajima.lg.jp